

# ベンダーマネジメント力の向上

## 人材育成上の課題・目標

- ・ベンダーのマネジメント手法を知りたい
- ・自社に最適なシステム開発会社の選定したい
- ・システム開発に必要な発注者の役割の理解したい
- ・契約後、発注者としての職務を理解したい



## 課題解決・目標達成を目指して

- ・ベンダーマネジメントの重要性を理解する
- ・ベンダーの選定方法を理解する
- ・ベンダーを管理する手法を理解する

## コースのねらい

情報システム開発の発注者（ユーザー企業）として知っておくべき事項を理解し、システム開発会社（ベンダー）との良好な関係を築くためのベンダーマネジメント手法を習得する。

## カリキュラム（例）

	基本項目	主な内容（例）
基本要素	■ ベンダーマネジメントの概要	・ITシステムの「2025年の崖」とは ・ベンダーマネジメントとは ・VMOの編成
	■ ベンダーの選定	・ベンダーの選定・評価方法 ・システム開発プロジェクトの成功例、失敗例の紹介
	■ VMOが担う役割	・契約管理 ・リスク管理 ・モチベーション管理手法 ・パフォーマンス管理手法 ・QCDを改善するための検討
	演習（例）	・ベンダーマネジメントのフレームワーク ・システム開発例を用いたVMO演習
	応用・実践要素（例）	・ベンダー評価シートの作成

## 日程設定と受講料（例）

- (1) 1日（6時間）コース  
3,300円（税込）
- (2) 2日間（12時間）コース  
5,500円（税込）

- ※ 金額は、1名あたりの受講料です。
- ※ 6～30時間の間で設定可能です。

## 推奨対象者

中堅層

## 関連コース

- A 生産管理
  - ・在庫管理システムの導入
- A 流通・物流
  - ・流通システム設計
  - ・物流システム設計
- A バックオフィス
  - ・データ活用で進める業務連携
  - ・失敗しない社内システム導入
  - ・企業内でIT活用を推進するために必要なマネジメント
- B 組織マネジメント
  - ・成果を上げる業務改善
  - ・ムダを発見するための業務プロセスの見える化と業務改善
  - ・DX人材育成の進め方

※ 基本項目は必須としますが、主な内容や演習、応用・実践要素は、ご要望に応じてカスタマイズすることが可能です。  
 なお、訓練時間によっては、上記の全ての内容を実施できるものではありません。